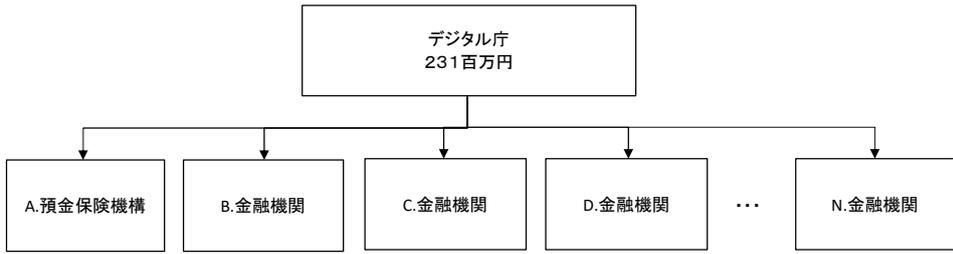


事業番号

2023 - デジ - 新23 - 0003

令和5年度行政事業レビューシート			(デジタル庁)				
事業名	公金受取口座登録業務支援経費			担当部局庁	デジタル社会共通機能グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	ID認証・マイナンバー班 預貯金口座2法T	参事官 柳沢信高	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和3年法律第38号)」第8条・第12条			関係する 計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)		
政策	デジタル社会の形成に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	公金受取口座の登録の仕組みの実現						
現状・課題 (5行程度以内)	令和5年度下期以降から一部金融機関を対象に先行事業開始予定であり、目下金融機関と調整中。						
事業概要 (5行程度以内)	内閣総理大臣は金融機関及び預金保険機構に対し、公金受取口座の登録等の受付に関する事務を委託することとされている。本件は同委託業務に生じる経費である。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	231	284
執行額(G)	-	-	-	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	デジタル社会形成推進費			令和6年度から、全国金融機関を対象として、通年で本事業を実施するため。		
	(目)	情報処理業務庁費	231	284			
		その他					
	計(A)		231	284			

活動内容① (アクティビティ)		・金融機関は、公金受取口座の登録等の受付を実施のうえ、デジタル庁宛て情報連携を行う。 ・預金保険機構は、金融機関とデジタル庁間の情報連携を、「口座情報連携システム」を用いて行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		法令の施行に向けて必要となる、金融機関・預金保険機構による事務を適切に実施する。	法令の施行に向けて必要となる、金融機関・預金保険機構による事務を開始する。	活動実績	-	-	-	-	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 短期目標には金融機関と預金保険機構の「安定的な事務運用」を設定する。 なお、全国金融機関の事務運用を定量的に把握・集計することは現実的で無いことから、金融機関とデジタル庁間の情報連携ハブ(中心機関)である預金保険機構のシステム(口座情報連携システム)の稼働率を定量的な成果指標とした。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		口座情報連携システムの稼働率99.9%(実稼働時間/予定稼働時間)を目標に安定した運用に努める。	計画停止や災害による停止を除く業務の稼働率(実稼働時間/予定稼働時間)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	99.9	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国民・金融機関等に対して、安全・安定的にサービスを提供する必要がある。同じく、安全・安定的にサービスを提供する必要があるマイナンバー制度関係システムの稼働率と同じ水準を目標数値に設定した。								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり) 金融機関と預金保険機構の安定的な事務運用を前提に、長期目標には公金受取口座の制度を充実させ「公金受取口座としての制度基盤を安定させること」を設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		公金受取口座登録法施行規則に定められた給付のすべてにおいて公金受取口座情報が利用可能となるよう、公金受取口座情報を利用可能な給付の数を増やす	公金受取口座情報を利用可能な公的給付の支給等の種類の数/制度上定められた公的給付の支給等の種類の数	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公金受取口座を利用して受け取ることができる給付金等(https://www.digital.go.jp/policies/account_registration/benefits/)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								



※国から金融機関への支払い方法については、
業界団体毎にとりまとめてもらう方法等も想定され
るため、今後要調整。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が
 何を行っているかにつ
 いて補足する)
 (単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 用途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	預金保険機構		-	委託費	金融機関	-
計				計		

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	預金保険機構	2010005002591	公金受取口座登録業務支援 経費事業	-	随意契約(その他)			「公共職員の適正化について」(平成18年8月28日財計第2017号)1(2)①イ(イ)「法令の規定により、契約の相手方が一に定められているもの」に該当するため。
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	